

令和7年度第1回小牧市学校給食運営委員会会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和8年2月6日（金）
午後1時30分～午後2時15分
- 2 開催場所 小牧市北部学校給食センター 会議室
- 3 出席委員 委員長 梶田光俊、副委員長 富嶋恵子
鈴木和弘、小栗幸子、布施江利子、江原歩美、細江麻里、
廣瀬昌美、川副佐和、北川高広、崎山真以、鹿野裕、
川出潤一郎、伊藤純子（14名）
- 4 欠席委員 原沙弥香（1名）
- 5 事務局 中川教育長、矢本教育部長
（学校給食課）勝山課長、小川主幹兼南部学校給食センター
所長、松本東部学校給食センター所長、佐藤（綾）栄養
教諭、渡邊学校栄養職員
- 6 議題 1. 学校給食費の改定について
・ 諮問事項の審議について
・ 答申について
- 7 会議資料 資料1 令和8年度学校給食費の改定について
資料2 給食費検討資料
（参考資料）
・ 小牧市学校給食運営委員会条例
・ 小牧市学校給食運営委員会要綱
- 8 議事内容
1. 教育長あいさつ
教育長
・ 給食食材が高騰し給食の安定供給が困難になったこと
から、令和7年4月に1食あたりの給食費を小学校
290円から310円に、中学校330円から350円に改定。
・ 給食費の改定にあたり、子どもたちの健やかな成長の
ため必要な栄養価及び量を確保しながら、献立につい
ても工夫を加え、学校現場や保護者の意見などに耳を
傾けながら、給食の充実に努めてきた。
・ しかし、更なる物価上昇が続いており、給食食材費も
高騰の影響を受けており、食材単価は令和6年度から
令和7年度にかけて更に上昇し、令和7年度に改定し

ました給食費で、令和8年度も質・量のバランスがとれた給食を提供していくことができるのかを検討したところ、現行の給食費では困難な状況。

- ・令和8年4月から改めて給食費を改定することとしたもの。

2. 委員紹介

＜委員名簿順に自己紹介＞

3. 委員長及び副委員長の選任

＜事務局より委員長及び副委員長選任について説明＞

委員から梶田委員を委員長に、富嶋委員を副委員長に推薦する旨の発言があり、委員の拍手多数により選任

4. 委員長あいさつ

＜梶田委員長よりあいさつ＞

5. 議題

(1) 学校給食費の改定について

事務局 議題（1）学校給食費の改定について

1. 学校給食を取り巻く状況

- ・令和7年4月に給食費を改定したが、その後も食材価格の上昇が止まらず、現行給食費では学校給食摂取基準に基づく栄養バランスのとれた給食提供が困難な状況。
- ・複数業者からの見積取得や安価な食材の活用を行っているが、対応が難しい状況。
- ・国の施策として「学校給食費の抜本的な負担軽減」（いわゆる小学校給食費無償化）が実施される予定。

2. 令和6年度と令和7年度の食材価格比較

- ・昨年度と比較すると、多くの食材で価格が上昇
主食については、米飯（90g）16.45円、ロールパン（60g）2.77円、牛乳1.83円それぞれ上昇
- ・副食についても、一部を除き多くの品目で値上がり。

3. 学校給食費の改定について

- ・令和8年4月から給食費を改定する必要から、改定内

容を盛り込んだ当初予算案を、令和8年第1回定例会（3月議会）に提出予定。

4. 改定額について

- ・主食の単価上昇分を積算し、現行給食費に上乗せして改定案を算出。

- ・小学校

単価上昇額：令和6から7年度：10.51円

令和8年度見込み：12.85円

上昇額：23.36円

310円から330円（改定率 6.5%）

- ・中学校

小学校の1.3倍の提供量で算定

単価上昇額：令和6から7年度：13.14円

令和8年度見込み：16.71円

上昇額：29.85円

350円から380円（改定率 8.6%）

5. 給食費の定期的な見直しについて

- ・今後も物価の動向を踏まえ、給食費の見直しを毎年度行う。

< 質疑 >

鹿野委員
事務局

- ・算出方法について
- ・令和7年4月の値上げは、令和5年度実績と令和6年度分の上昇率を見込んで算出。今回は、主食分の令和7年度実績と8年度の見込み額によって算出。
- ・令和7年12月に、令和8年度の主食の値上げ見込みについて県給食会から提示があった。

廣瀬委員

- ・給食の食べ残しについて
- ・給食費を値上げしなければならない状況について
- ・答申について

事務局

- ・栄養摂取基準に応じた量と品質のものを概ねその基準をクリアしたものを給食で提供。
10%を超える位の食べ残しがあり、課題となってい

る。

- ・給食費については、学校給食法で食材費は保護者負担となっており、施設の維持費や人件費は学校設置者である市町村の負担となっている。

多子世帯にかかる給食費の無償化として、令和4年9月から第三子以降の小中学生を、令和5年9月から第二子以降の中学生に拡大。

まだ、市議会で来年度予算が可決されていない段階だが、令和8年度は、小学校は国の施策によって給食費の負担軽減。児童一人あたり月額5,200円を国の方から、不足するところは市で、中学校は第二子以降については、現行の市の無償化を継続。第一子については、令和8年度に限り、国の交付金を使って、無償化の実施を計画している。

- ・答申にご意見を盛り込むことは可能ですが、令和8年度については、保護者負担が増えることはない。

崎山委員
事務局

- ・一部の食材が値下がりしているがその理由は。
- ・国産を外国産に切り替えたり、ハムについては、部位の指定をしていたが、指定を取りやめるなどをした。
- ・原則、競争入札を行い、一番安価な食材を使用。

小栗委員

- ・本日提供された豆乳プリンなどアレルギーを考慮した献立は学校現場としてはありがたい。
- ・安価なことに越したことはないが、安全安心に食べられることも給食には大切だと思う。

事務局

- ・アレルギー対策については、今年度、アレルギー対応委員会を立ち上げ、市民病院医師、消防の救急搬送をおこなう職員など専門性のある方に参加いただいております。今後も進めていく。

伊藤委員

- ・普段の買い物でも食料品の値上がりを実感している。給食に安全安心な食材をそろえるとなると、給食費の値上げはやむをえないかなと考える。
- ・そのことを学校現場で児童生徒に伝えてほしい。栄養教諭が学校でどのように給食を作っているのかを説明しているが、それに加え小学校高学年や中学生には

教育と絡めて、どれだけ多くの方が関わり、この値段で給食が食べられているかを子どもたちが知る機会があるとよいと思う。

- 布施委員
- ・給食費が安くなるという表面的なところだけでなく、これだけの努力があるということを何かの機会に伝えられたらと思う。
 - ・アレルギーが増えているが、家庭間での対応への温度差を感じている。市の対応を理解してもらえるとよいと思う。
- 細江委員
- ・1月に学校給食週間があり、愛知県産・小牧市産の食材を使った給食がでた。
 - ・給食の冊子に給食の推移が掲載され、最近では、麺は国産の、パンは国産100%へ向け努力することによって、生徒に知らせたいと思い、校内に掲示した。
 - ・給食の食べ残し対策についてもいろいろ工夫している。
 - ・現在、国の補助を使い、中学校は給食費が280円になっているため、380円となると100円の値上がりを受け取られないようにすべき。
- 江原委員
- ・子どもたちの安全と安心と栄養を考えて準備されていることがよく分かった。
 - ・見た目だけで食べられない児童もいるので、少し食べてみたらという声かけや、なぜ牛乳が提供されているのかということについて、低学年からの声かけも大切であると感じている。
 - ・高学年では、調理実習では、自分たちが作ったものを食べるがよく食べる印象がある。作っていただいたということに感謝の気持ちをもって給食指導をしていけるとよいと思う。
- 川副委員
- ・値上がりは仕方がないかなと思う。学校で給食に関する催しがあり、楽しみにしている。
- 鹿野委員
- ・物価上昇は外的な要因なので避けられないが、栄養的な面でも管理されていることがわかればよいと思う。
- 北川委員
- ・必要な量、栄養素を満たそうとすると、改定はやむな

いと思う。市の施策として無償化はありがたいと思う。

- ・子どもたちから夕食で、今日の給食についての話題がでる。

川出委員

- ・仕入れ業者の選定についてはどうされているか。値段ばかりでなく品質も大切である。

事務局

- ・給食の献立は献立作成委員会で、物資の選定については物資選定委員会で行う。

品目で小牧市や近隣市町で実績のある業者で入札を行っている。

梶田

委員長

- ・委員の皆さんのお話をお聞きし、給食費の値上げについては、合意形成ができていると感じる。関係各位に十分な説明を行っていただくことで、概ね了解が得られると感じていますがよろしいか。

<意見発言なし>

梶田

委員長

- ・続いて、答申について説明をお願いします。

事務局

<事務局より説明>

梶田

委員長

- ・学校給食費の値上げについては、本日の審議を踏まえ実施するとの答申を行うということで、委員の賛同をいただきたいが、よろしいか。

<意見発言なし>

梶田

委員長

- ・文面については、委員長、副委員長に一任いただきたいと思うが、よろしいか。

- ・委員各位には、後日、答申書の写しを配布する。

<意見発言なし>

6. その他

特に意見・発言等なし

(閉会)